



「収 穫」

(撮影者：比企デジタル写真クラブ 薄井政夫／撮影場所：埼玉県嵐山町)

も く じ

○野上武利さんからひとこと	2	○情報ネットワーク	6
○韓国女性開発院と研究交流・協力協定を締結	3	○調査研究・事業報告・資料の作成	6
○会館をご利用いただいた方の声	3	・国立女性教育会館研究ジャーナル第10号刊行	6
○事業予告・募集		○ことばの基礎知識	6
・アジア太平洋地域の女性リーダー		○トピックス	6
エンパワーメントセミナー	3	・韓国両性平等教育振興院の国際シンポジウムに出席	7
・配偶者からの暴力等に関する相談員研修	4	○ボランティアコーナー	7
・女性の教育推進セミナーⅡ	4	・カンボジア研修生と交流	7
○事業の実施報告		○話題になりました	7
・女性のキャリア形成支援推進研修	4	○お知らせ	
・家庭教育支援事業「めざせ！食育マイスター」	4	・寄附金受け入れの報告・お願い	8
・女子高校生夏の学校	5	・利用案内	8
・男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム	5	・主な利用団体	8
・女子学生のキャリア教育・就活支援者セミナー	5	・展示コーナー	8



の が み た け と し 野上 武利 さんからひとこと 「MOTTAINAI」

私が女性問題に関心を持った切っ掛けは今から23年前の銀行勤務時代。年齢は丁度40歳。それまで営業店勤務が多かった私が突然研修課長を命じられた。時代はコンピューターと端末の機器類が直結していないオフラインから、通信技術(IT)の発達によってオンライン化が進むエレクトロバンキング時代を迎えた頃で金融界全体が激動の真只中にあった。人材育成も例外ではなく新しいシステムが求められる時代だった。じっくり養成するシステムから即戦力の人材育成が求められる転換期に遭遇した私は先ず行内の人的資源、なかでも女性の存在に強い関心を持つようになった。幸いにして研修課には研究対象となる女性が数多くいた。就任後しばらくは彼女たちの一挙手、一投足と潜在能力の有無を観察、分析していた。分析結果はMOTTAINAIだった。

人事部と云えば銀行内でも精鋭が集まるところ。女子行員として例外ではなく研修課の女性は行内の津津浦浦から選び抜かれた優秀な人材ばかり、しかし、鳴りものいりで集められた彼女達の職務は残念ながら補助的なもので、お茶汲み係同然だった。そこで私はその中の5人に担当講座を持たせると同時に講師に登用した。高い資質の彼女達は直ぐ頭角を現した。外部講師に見劣りしないばかりか業界と行内事情に精通してただけに外部講師以上に高い成果を挙げた。

余談だがその中の3人はその後1人は女子大の講師を勤めたり、著作をものにしマスコミにしばしば登場する有名人になった。1人は銀行系シンクタンクのコンサルタントを經由した後に独立し現在も県内の女性リーダーとして活躍している。残る1人にしても銀行系シンクタンクでコンサルタントとして活躍する一方、日本中を飛び廻るスーパーレディになっており誠に喜ばしいかぎり。

こうした研修課時代の経験から、その後支店長として勤務した営業店ではそれまで男性優位の職務とされていた融資係や店舗外に出たの渉外係に能力のある女性を多数登用し、男性主体の他の店以上に高い業績を挙げ、行内のみならず金融界の話題となったこともある。また或る店では男性の渉外係を3人減らし、女性のパート7人を渉外係として採用し、何年にもわたって高い業績を挙げたことがある。現在では多くの金融機関がこうした女性登用のシステムを採用しているが20年前は珍しく男女共同参画の走りといえ話題になった。

これら一連の経験はその後勤めることとなる現在の職場の経営者協会においても活かされ、女性主体の事業を展開したり、会員企業に対しては女性の参画を得てこそ企業に発展をもたらすと女性登用の効用を説いている。その折の経営者に対する殺し文句は、貴社の有能な女子社員を放っておくのは『MOTTAINAI』と、彼のケニアのワンガリ・マータイ副環境大臣の言葉を拝借している。

プロフィール

現 職 社団法人 埼玉県経営者協会 専務理事
埼玉県産業教育審議会委員
ものづくり大学評議委員
所属学会 ドラッカー学会

韓国女性開発院と研究交流・協力協定を締結

9月28日(木)に韓国女性開発院(ソー・ミョンソン院長)と研究交流及び協力に関する協定を締結しました。会館が外国の機関と協定を結ぶのは、今年4月の韓国両性平等教育振興院との協定締結に続いて2件目となります。

協定締結式は、秋晴れのさわやかな日に、ソー院長並びにジョン・ヘソン研究員を会館に迎えて、研修棟会議室にて執り行われました。始めに神田理事長よりこれまでの両機関の交流を踏まえ、協定を契機とした交流のさらなる展開を期待する旨の挨拶があり、続いて、ソー院長より共通の文化、共通の課題を持つ両国の研究者の協力により国際社会の発展に貢献したいと挨拶がありました。その後、お二人により協定書に署名が行われました。

協定締結後には、今後の研究協力分野について話し合いがもたれました。

会館と韓国女性開発院は、この研究交流及び協力に関する協定に基づいて、共同研究を始め、刊行物及び研究情報の交換、合同セミナーの開催等、交流を拡大していきます。



◀右…ソー・ミョンソン院長
左…神田道子理事長



◀研究協力分野に関する懇談

会館をご利用いただいた方の声

青山学院女子短大茶道部 木内直子さん(9/13~14ご利用)

2000年頃から利用しています。とてもリーズナブルな料金でありながら、お茶の道具も揃っているのも、毎年、夏休みの終わりに1泊の合宿を行っています。

お茶室(響書院)は、いくつものお部屋があり、広いのでとても使い易いですね。また、他の研修施設もありますので、お点前だけでなく茶道の歴史などの講義もできて便利だと思います。

今回、平日に利用したところ、全員お風呂付の宿泊室に泊まることができ好評でした。宿泊室にテレビがないので、最初はとまどいましたが、その分じっくりと話ができ、部員の交流が深まった気がします。

学生にとって、このような施設での宿泊研修は、より充実した内容とするために、連絡調整や段取りなど工夫が必要ですが、短大なので、社会人になるためのよい学習の機会になっていると思います。



彩の国いきがい大学東松山学園 代表 山田恵一さん(9/14ご利用)

この学園の運営目的は、高齢者が変化する時代に対応するため、心身の健康保持につとめ、仲間づくりや地域活動に対する知識・技能の習得を行うことにより、自ら生きがいづくりを目指し、卒業後は地域で活躍できるようにすることです。生活環境科、健康福祉科、ふるさと伝承科、美術工芸科の4つの科があり、埼玉県内在住の60歳以上の方が、2年間学習を行います。

今回は、第2学年で行う課題学習の成果発表会で利用し、素晴らしい発表が行われました(写真は発表の様子)。

東松山市から近いこともありますが、手頃な料金で、600名を収容できる講堂など大規模な施設が使えることが魅力です。発表に必要なプロジェクターなどの機器も使い勝手が良いと思います。



事業予告・募集

アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー(11月23日~12月3日)

11月23日(木)から12月3日(日)までの11日間、女性リーダーの力量形成を目的に、ESCAP(国連アジア太平洋経済社会委員会)加盟国を対象に、20人程の研修生(海外および国内)を募集します。女性情報や女性と男性に関する統計データの調査研究の成果など会館の蓄積を生かした基礎プログラムも組み込み、アジア太平洋地域の女性リーダーが「力をつけること」を支援するものです。国内からも若干名の参加者を募集します。

詳細は、研究国際室までお問い合わせください。

事業予告・募集

配偶者からの暴力等に関する相談員研修(1月24日～26日)

平成19年1月24日(水)から26日(金)の2泊3日、公私立の女性会館・女性センター等の女性関連施設の相談員を対象に、配偶者からの暴力等に関する相談員研修を実施します。

女性関連施設等における相談は、配偶者等からの暴力被害など女性に対する暴力、虐待、就労など多様な内容になりますが、何よりも男女共同参画の視点に立って、援助、支援することが大事です。多様化・複雑化している相談内容に対応できる相談員の質の向上を目指し、講義や参加型の実践的な研修を通して、今日的課題の解決に必要なより専門的な知識と高度な技術の習得を図ります。なお、1月24日(水)から25日(木)には、内閣府委嘱事業、平成18年度「配偶者からの暴力被害者支援応用セミナーⅡ」を、あわせて開催します。

詳細は、ホームページ <http://www.nwec.jp/> をご覧くださいが、事業課までお問い合わせください。

<募集人数> 60名 <経 費> 参加費：無料。交通費：会館会計規程等により支払います。

女性の教育推進セミナーⅡ(1月～2月)

平成19年1月から2月の約1か月間にわたり、「女性の教育推進セミナーⅡ」を開催します。この事業は、国際協力機構(JICA)からの委託を受けて、平成13年度から昨年度まで5か年にわたって行ってきた研修事業を引き継いで行うものです。対象はアジア、アフリカ、中近東等の開発途上国で、女性の教育問題に携わっている担当者です。

この研修事業の目的は、各研修員に女子・女性教育における現状と課題を把握し、女子・女性教育推進のための施策について研修すると共に、開発途上国における教育へのアクセスや教育達成度における男女格差是正のための政策の立案、実施に必要な考え方や情報を習得していただくことです。

本研修は、各専門分野の講師陣による講義、女子教育を推進するための具体的なアクションプランの作成、小中学校、高等学校への訪問等を通じて目標の達成を目指します。また、会館ボランティアの協力により、ホームビジットやお茶会、着付けを体験していただき、日本の文化に触れる機会を提供します。

帰国後、各研修員がこの研修によって得た知識を実践の場で活かすことにより、各国の女子・女性教育の改善が図られる等の研修成果を期待しています。

事業の実施報告

「女性のキャリア形成支援推進研修」



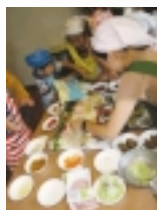
▲ 研修会の様子

7月12日から14日の2泊3日の日程で、「女性のキャリア形成支援推進研修」を実施しました。北は北海道から南は九州まで全国各地から女性関連施設等の職員、団体・グループ・NPOのリーダー、大学・短大の教職員等、様々な立場から女性のキャリア形成を支援する方々110名のご参加をいただきました。

今年度の研修は、女性の一生を見据えた上での「キャリア」とは何か、「キャリア形成支援」とは女性がどのような力をつけるための支援なのか…という基本的な考え方の理解を重視した内容としました。また、会館がこれまで取り組んできた「生涯学習の活用と女性のキャリア形成に関する調査研究」の成果報告や「女性のキャリア形成支援サイト」の活用等、調査研究・情報事業との連携を図ったプログラム内容を位置づけ、有効な支援方策について参加者の皆さんとともに考えました。

「女性の多様なキャリア形成」を支援するためには、収集した「ロールモデル」をどのように提示・活用していくかが今後の支援の課題となります。国立女性教育会館では、今後も「ロールモデル」の有効な活用法についての調査研究を続けていきます。

▶ 究極の一品づくり



▶ 究極の一品「富士山を望んだ夏」



家庭教育支援事業「めざせ! 食育マイスター」

7月29日(土)から30日(日)、家庭教育の支援、とりわけ食を通じた親子のつながりと基本的な生活習慣の育成をテーマとし、食に関する体験や学習を通して、家族や食にかかわるさまざまな人々とのコミュニケーションの大切さを学んでもらうため、「めざせ! 食育マイスター 食卓で取り戻そう家族のコミュニケーション」を、毎日小学生新聞との共催で開催しました。

みんなで楽しく会食するための料理を作る活動では、「夏の風景」をテーマにとうもろこしの黄色や、きゅうりの緑色、トマトの赤などを絵の具の代わりに、トレーのキャンバスいっぱい「花火」や「ひまわり」をかたちづくり、見て楽しく食べて美味しい【究極の一品】を完成させました。

北は山形県、南は兵庫県の14の都府県から参加した小学生68名とその保護者60名、計128名は、これらの様々なワークショップを通して「食」の大切さを楽しく学び、子どもたちには「食育マイスター」の称号が贈られました。

事業の実施報告

女子高校生夏の学校

8月17日(木)から8月19日(土)の2泊3日で、「女子高校生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～」を開校しました。この事業は、女子高校生に科学・技術分野の魅力を伝え、理工系分野への進路を考える機会の提供を目的に実施したもので、111名の参加がありました。

今年度は、6つの実験・実習を取り入れ、「生命の不思議を科学する」では、自分の口腔粘膜からゲノムDNAを抽出し、自分がアルコールに強いかわるかを調べたり、「ペーパーブリッジ・コンテスト」では、工作用紙と両面テープだけで橋の模型を作り、負荷をかけて模型の強さを競ったりしました。ポスターセッションやキャリア相談、女子大学生企画クイズ大会等も含めた参加体験型プログラムは大変好評でした。

講演では、理工系に進学した女子大学生、大学の研究者、理工系分野へ就職した現場で活躍している方々9名に、科学・技術の世界の楽しさや夢をかなえてきたプロセスを熱く語っていただきました。女子高校生にとっては、生きた科学技術の世界に触れ、新しい出会いと発見の3日間となりました。



▲参加者とスタッフ全員で記念撮影

「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」

8月25日(金)から27日(日)の2泊3日、「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」を実施しました。

第1日は、「未来へのメッセージ—新たな男女共同参画への取組—」と題するパネルトークを行いました。第2、3日は、新しい取組みとして、第2次男女共同参画基本計画を受けた「新たな取組を必要とする分野」や男女共同参画を推進する上での解決が急がれる課題から設定した6つのテーマ(女性のキャリア形成とチャレンジ支援、科学技術分野への女性の参画、地域の活性化と男女共同参画、女性関連施設・社会教育施設の役割、環境分野への女性の参画、防災と女性)に72のワークショップが展開され、1,139名の参加がありました。



▲パネルトークの様子

女子学生のキャリア教育・就活支援者セミナー 低学年次からのキャリア教育・就職支援

9月7日(木)から8日(金)の1泊2日で、「女子学生のキャリア教育・就活支援者セミナー：低学年次からのキャリア教育・就職支援」を実施しました。このセミナーは、大学・短大において女子学生のキャリア教育・就職支援に関わる教職員を対象としたもので、全国から63名の方々にご参加いただきました。

大学・短大教職員のみを対象とした初めての試みとして今年3月に実施した「女子学生のキャリア教育・就活支援者セミナー」の第2弾として、今回のセミナーは、「低学年次からのキャリア教育・就職支援」をテーマとし、職場での学生支援に活かせる実践的な情報が得られるように構成しました。カリキュラムやインターンシップ等に関わる大学の先進的な取り組み事例や、企業における女性活用の事例、個々の学生のモチベーションを高める対応についての情報提供や、参加者同士の意見交換・課題解決に向けたディスカッション等、充実した内容となりました。

参加者からは、セミナーの成果について、「具体的な取り組み事例が大変参考になり、新しい発見があった」「職場で活かせるヒントが得られた」等の感想があり、また、今後の職場での取り組みについては、「女子学生を対象として、生涯を通したライフプランを考えるようなプログラム企画を検討したい」「支援する自分たちの生き方・職業観を深めるよう心がけたい」等の声がありました。



▲セミナーの様子

情報ネットワーク

女性のキャリア形成支援サイト・ロールモデル追加、 女性学・ジェンダー論関連科目データベース・データ更新



～女性のキャリア形成支援サイト～

女性のキャリア形成支援サイトに、又エック・ブックレット4『キャリア形成にNPOをいかした女性たち』より、18名の方々の事例（ロールモデル）を追加しました。男女共同参画、地域づくり、福祉、子育て支援等のNPOで、いきいきと活躍されている方々が、どのようにその活動と出会い、キャリアを形成してこられたのか、<http://winet.nwec.jp/career/>より、ぜひご覧ください。

～女性学・ジェンダー論関連科目データベース～

女性学・ジェンダー論関連科目データベースに、2006年度開講科目（約3,700件）が追加されました。これは全国の大学・短大の学務担当者のご協力によるものです。生涯学習のご参考や、講座の講師探し等に、<http://winet.nwec.jp/jyosei/search/index.php3>より、ぜひご活用ください。

調査研究・事業報告・資料の作成

国立女性教育会館研究ジャーナル第10号を刊行



第10号は「災害復興」をテーマに、昨年12月に行った国際フォーラム「災害と女性のエンパワーメント」から、基調講演とシンポジウムの抄録を掲載しました。また、相川康子神戸新聞社論説委員から阪神・淡路大震災の復興を事例とした論文を、シェリル・アンダーソンハワイ大学災害・気候・環境プログラムディレクターからは災害リスク軽減のための国際的な取り組みについての論文をご寄稿いただきました。その他、会館の研修事業、投稿論文、書評などを掲載していますのでご活用ください。

入手希望の方には実費頒布します。1冊千円＋送料。

詳細はホームページ<http://www.nwec.jp/>をご覧ください。か、研究国際室までお問い合わせください。

ことばの基礎知識

指定管理者制度

2003年6月に地方自治法の一部が改正され、指定管理者制度が導入されました。それによって、地方自治体が出資する法人や公共団体に限定されることなく、民間営利企業も公の施設の管理・運営に参入することが可能になりました。導入の目的は「住民サービスの向上」と「行政コストの縮減」にあるといわれています。

2006年8月現在で導入しているのは1,075自治体（78.5%）、施設の種別別みると、「都市公園」（234自治体、5,631施設）、「集会所、コミュニティ・センター」（393自治体、5,585施設）への導入が多い。「高齢者施設」への導入数は第4位（3,382施設）ですが、導入している自治体割合は42%（627自治体）と最も高い。〔「指定管理者制度の導入状況に関する調査（2006）中間報告」より〕

トピックス

韓国両性平等教育振興院の国際シンポジウムに出席

9月8日、ソウルの韓国両性平等教育振興院で開催された国際シンポジウムに藏野情報課長と、岡野事業課専門職員が出席しました。これは、本年4月、韓国両性平等教育振興院と会館が、交流・協力に関する協定を締結したことにより、会館を代表してスピーカーとして出席することになったものです。テーマは「両性平等と教育」で、藏野情報課長が「男女共同参画と女性情報」と題して、日本の男女共同参画基本法、基本計画における「情報」の位置づけ、会館における情報事業について発表しました。これについて、会館の様々な事業の結果、日本の男女平等がどの程度進展したのか、という質問が寄せられました。直接これを示す数字等はありませんが、参考として会館が18年度から始めた「研修成果の普及・活用」の取り組み、つまり研修修了後、受講者が「研修成果の活用プラン」を作成・実施し、半年後その状況についてフォローアップ調査を行うもの、を紹介したところ、大変参考になった旨の意見をいただきました。

香港教育学院のグレース・マック博士からは「アジアの教育と社会における女性」、韓国両性平等教育振興院のキム・ジェイン院長から「韓国公務員の両性平等教育の限界と課題」と題して発表が行われました。



▲ シンポジウムの様子

ボランティアコーナー

カンボジア研修生と交流

私たちは、国際交流にかかわるボランティア活動をやっています。ここ2年、カンボジア女性省の研修生を受け入れていることから、私たち二人で初めて行く海外旅行はカンボジアと自然に決まり、今年3月29日から4月3日までアンコールワットの遺跡ツアーに申し込みました。けれども、宿泊地シュムリアップと研修生の住むノンペンにはバスで6時間もかかることが後から分かり、会えるかどうか心配になりました。約束の4月1日午後2時、ホテルに3人の研修生が到着、涙で再会を喜び合いました。その日はよく歩き、よくしゃべり、日本でのホームビジットが思い出として強く残っていることがわかりました。入浴を体験してもらいましたが、温泉の素が気に入ってたくさん買って帰られた方もいたとか。

これからも、どこの国の方々でも歓迎、歓待し、研修疲れを癒してもらえたらと思っています。心通わせた研修生に会う旅にむけて、英会話の勉強にも一層力が入ります。（会館ボランティア 杉山まさ江、梶谷和子）



話題になりました

○会館に関する事がマスコミ等に取り上げられたものを紹介します（7月～9月）

● 毎日新聞 7/30

『めざせ！食育マイスター 食卓で取り戻そう家族のコミュニケーション』
毎日小学生新聞創刊70周年を記念した「食」のイベントを会館で実施。

● NHKテレビニュース 8/1、8/3 民放各社 8/2

『日本の父親は子どもと過ごす時間が少ない』など、会館実施の「家庭教育に関する国際比較調査」報告。

● 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞、全国の地方紙 8/2

『日本の父親は子どもと過ごす時間が少ない』など、会館実施の「家庭教育に関する国際比較調査」報告。

● 河北新報、新潟日報、高知新聞、神奈川新聞、山形新聞、岩手日報、日本海新聞、埼玉新聞、山陰中央日報、
沖縄タイムス、宮崎日日新聞、山崎日日新聞、伊勢新聞、愛媛新聞、大分合同新聞 8/6～17

『男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム』参加者を募集。

● 朝日ニュースター（CS放送、ニュースの深層）8/21

会館実施の『家庭教育に関する国際比較調査』関連で会館の中野洋恵研究国際室長 生出演40分

● NHKワールドTV WHAT'S ON JAPAN 8/27

『女子高校生』「育て！理工系ガールズ」で神田理事長のインタビュー

● 日本経済新聞 9/2

会館で『女性アーカイブセンター』の構想

● NHKクローズアップ現代 9/21

会館実施の『家庭教育に関する国際比較調査』関連

お知らせ

● 寄附金受け入れの報告

寄附者名(敬称略)	寄附月	寄附の目的
又エックサポートネット	平成18年8月	女性教育振興のため

● 寄附金をお願い

又エックではより充実した業務遂行のための経費に充てるため、寄附金を含む外部資金を受け入れております。今後とも事業の充実、運営の改善及びサービスの向上に努めてまいります。皆様方の暖かいお篤志を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い致します。

◎寄附金に対する
問合せは総務課へ

一定の金額までの寄附金については、法人及び個人の場合ともに税法の規定により所得から控除されます。

● 利用案内

※ 休館日(平成18年11月～平成19年9月)

11月 6日(月)・20日(月)	2月 5日(月)・19日(月)	6月 4日(月)・18日(月)
12月 4日(月)・18日(月)・28日(休)～31日(日)	3月 5日(月)・19日(月)	7月 2日(月)
1月 1日(月)～ 4日(休)・15日(月)	5月 7日(月)・21日(月)	9月 3日(月)・18日(火)

注) ①休館日前日の宿泊と当日の朝食はご利用いただけます。

②休館日も電話・FAX・E-mailによる申込の受付や利用相談などは行っています。

③会館ホームページからインターネット予約ができます。

申込専用電話：0493-62-6723 ファクス：0493-62-6720 ホームページ：http://www.nwec.jp/

● 改修工事のお知らせ

○ご利用できない施設
大会議室、調理室、
試食室

○ご利用できない期間
11月～19年3月
・工事終了まで、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

● 主な利用団体(平成18年7月～9月)

7月

5日～ 7日	社団法人 日本青少年育成協会学校教育相談実技研修会 埼玉県教育局西部教育事務所 埼玉県公民館連合会 館長・公民館運営審議会委員合同研修会 菅谷第八区子育てサロン
19日	新宿区福祉部保育課 初級保育士研修 埼玉県立さきたま史跡の博物館 第39回埼玉県遺跡発掘調査報告会
19日～21日	社団法人 国際女性教育振興会埼玉支部
23日	埼玉県教育局西部教育事務所
25日～26日	

8月

1日～ 3日	墨田区教育委員会
2日～ 3日	埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課
4日～ 6日	社団法人 ガールスカウト日本連盟埼玉県支部
5日～ 6日	嵐山町文化団体連合会 「文化で地域を元気にする」文化庁長官河合隼雄講演会
9日～10日	埼玉県高等学校家庭クラブ連盟
9日～11日	東京都教職員研修センター
11日	社団法人 ガールスカウト日本連盟東京都支部第35団
12日～13日	日本親子読書センター
14日～15日	女子教育問題研究会

19日～20日	第20回子どもことば研究集会
20日	嵐山町青少年健全育成委員会 地域子ども教室
20日～24日	外務省主催 日欧高校生交流プログラム
22日	埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課 男女共同参画アドバイザー養成講座 鳩山町教育委員会
22日～23日	全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会
27日	埼玉県学童保育連絡協議会

9月

2日	埼玉県私立幼稚園連合会 全埼玉幼連合会北部ブロック幼稚園協会
2日～ 3日	東吾妻町婦人会連絡協議会吾妻支部 東京都社会福祉協議会保育士会 川越友の会
8日	国際ジェンダー学会
8日～10日	東京都社会福祉協議会児童部会
13日～15日	嵐山町青少年健全育成委員会
18日	騎西町生涯学習センター
20日	全国友の会北関東部
26日～28日	韓国女性開発院 (KWDI)
27日～28日	
30日～10月1日	北区男女共同参画推進ネットワーク

● 展示コーナー(10月～12月)

「乳がん治療の現在」

現在、日本女性の30人に1人が乳がんにかかると言われています。最新の診断・治療法、そして、病とともに生きる人生について考える資料を、1階エントランスホールに展示中ですので、是非ご覧ください。

- *展示資料例 「ひとりぼっちじゃないよ：はじめての乳がんを生きるための知識とところ」
「乳がんは女たちをつなぐ：京都から世界へ」
「乳がんの人のためのレシピ：おいしく食べて、元気に生きよう」

※展示のリストはホームページに掲載しています。http://winet.nwec.jp/database/page08.php



編集後記

- 7月29～30日に実施した「めざせ！食育マイスター」。小学生の歓声が蝉時雨に負けず会館内に響きました。大人の利用がほとんどの会館ですが、この時は普段と違った賑やかな雰囲気でした。
- この間までの暑さがどこへ行ったかと思うほど急に涼しくなりました。会館敷地内には様々な落葉樹がありますが、それぞれ個性豊かに秋の“お色直し”の真っ最中。大自然の色彩の変化に感激。
- 読書の秋、食欲の秋、運動会…と健康的なイメージの秋ですが、食中毒の多い季節でもあるといえます。また、これから風邪の流行する季節にもなります。規則正しい生活で健康管理も十分に…。

又エックニュース第115号

平成18年10月25日発行

編集発行 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

☎0493-62-6711(代表)

FAX.62-6722(総務課) 62-6720(事業課)
62-6721(情報課) 62-9034(研究国際室)

ホームページURL http://www.nwec.jp/
E-mail webmaster@nwec.jp